



【読書】キャラクター「おっほん」

札幌市立真駒桜山小学校

読書活動の取組

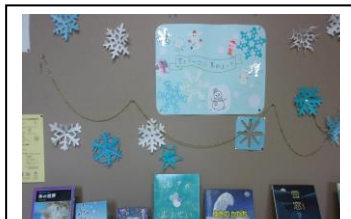
読書センターとしての機能

◎朝読書と読み聞かせ

本校では、読書の楽しみや喜びを感じ、落ち着いた一日の始まりになるよう「朝読書」の時間を設定しています。また、朝読書の時間に、毎月ボランティアさんによる読み聞かせを行っています。日本語のみならず、英語の本の読み聞かせもあり、表現豊かな読み聞かせに引き込まれ、子どもたちの音読や表現力にも良い影響を与えています。

◎図書委員による選書

図書委員会の活動で、月ごとにテーマを決め、テーマにあったお薦め本の展示、また本のポップやポスターを作成し、本を選ぶ際の興味の幅を広げることができるような取組も行っています。



学習センターとしての機能

◎2年生国語

「どうぶつ園のじゅうい」

学習を進める中で、動物園や獣医の仕事について、自分たちでも調べてみたいという思いを強くもちました。子どもたちは、知っていることを確かめたり、もっと知りたいことを調べたりし、自分の言葉で分かったことをまとめる学習を行いました。

◎5年生国語

「図書館を使いこなそう」

日本十進分類法について知るために、分類を頼りに指定の本を探す活動をしました。「“雪”の本を違う分類で3冊」といった課題に対しては、いくつもの棚を探して、関連する本を見つけました。



情報センターとしての機能

◎総合学習のための情報提供

子どもたちは学習の中でインターネットを使用し、調べる活動が多くなってきています。

その中で、インターネットから入手した情報をより深く調べるために図書館に行って本を活用したり、逆に本を読んで気になったことや興味をもったことについて、インターネットで調べてみたりと、自分の調べ学習に必要な情報を選び、学習できるよう開放図書館司書、ボランティアの方々に御協力いただきながら、環境を整えています。

